

# 「今年も出会えたサンコウチョウ」

林 孝行

(富士宮市大岩)

れているサンコウチョウの繁殖活動を中心にした素晴らしいカラー写真が掲載されていた。

私も2年前、丸火自然公園内で体長の3倍くらいの長い尾羽根をなびかせながら木立の中を飛行している姿に出会って感動し、この飛行する瞬間を撮りたくて毎年通っている。

今年5月初旬、公園内で「ホイホイホイ」とさえずっている声を聞いたとき、今年も来てくれたと安心した。しかし声は聞こえるが姿は見えない。何度か



通っているうちにサンコウチョウの行動パターンができ、来そうな場所にて待つことにした。

今年は1組のペアしかできていない様子。そんな6月下旬のあの撮影以来、オスとメスの出会いは無かった。シャッターボタンの指をかけ、緊張しながらじっと待つ。幼鳥が元気な姿を見ながら待つ。

撮影チャンスはほんの数秒。「来たっ!」。けれど、

しかし動きが速すぎてピンボケだらけ。何と東南アジアに渡る時期か撮れたのが、木に止まった瞬間のこの写真だけ。しかしこの「華麗に飛行している写まに撮れる」一瞬には、真は、また来年に持ちまるとも思えない。越した。

フォトギャラリー

今年8月、新聞の夕刊1面に8回にわたって、「県の鳥」に指定さ